

笑顔あふれる学校・思いやりあふれる学校・チャレンジあふれる学校
 令和2年度 飯野中学校 学校だより 第42号
 自律 志保井が丘 協働
 挑戦 2020.9.14 発行 文責 校長 目黒 満 創造
 教師・保護者・地域がみんなで見守り、みんなで育む学校

生徒会本部役員選挙運動始動

今日9月14日から、生徒会本部役員選挙の選挙運動期間が始まりました。演説会と投票日は今週の金曜日18日です。今日から5日間は選挙運動期間となります。



昇降口には選挙ポスターが貼られ、昇降口前では朝早くから立候補者や責任者が揃って、登校してくる生徒を迎えていました。

昇降口には選挙ポスターが貼られ、昇降口前では朝早くから立候補者や責任者が揃って、登校してくる生徒を迎えていました。

3年生の責任者ともなると勝手が分かっている生徒もいて、緊張感を感じないのですが、1年生の立

候補者の中には、緊張してしまい、どうしていいか分からないような表情で立っていた生徒もいたようです。

「生徒会本部役員になる」ということがどんなことなのか。まだ、それほど深くは考えていない立候補者もいるかも？と感じた部分もありますので、そのところは、先輩の3年生の本部役員や責任者から、今日以降しっかりと伝えてほしいと思います。

「これからへの期待」も込めながら、生徒会役員になるということはこういったこと



なのか、一つの例を挙げてみたいと思います。

生徒会本部役員になるということは、これからの飯野中を背負って立つ一人になることです。もちろん本部役員でなくても、皆



さん一人ひとりが飯野中の看板を背負っています。飯野中生の誰かが、人の役に立つすばらしい行為をすれば、飯野中の生徒はすばらしいと言われます。逆も同じです。

生徒会役員は、飯野中を背負う一人であるとともに、飯野中の顔・核となって、集団をよりよい方向に引っ張っていく人です。自分の持っている力や人間性、創造力を発揮して、飯野中という集団がより良い集団となり、一人一人が過ごしやすい、勉強しやすい、より成長できる時間と空間とするための中核となるということです。

今日から始まった選挙運動も同じです。朝、どんな表情で、どういった気持ちで、どんな服装や姿勢で登校してくる他の生徒を迎えればいいのか、全校生一人一人の今日一日がより充実したものになるのか、そのための気持ちの良いスタートを昇降口前で迎えてもらうために、自分自身はどうすればいいのかを考えた行動をしてほしいと思います。それが本部役員としての基盤となるのではないのでしょうか。

日本国内でも、先週は合流野党「立憲民主党」の党首選挙が、また今日は、与党の自由民主党でも総裁選挙が行われています。国レベルの選挙は、投票前からある程度結果が分かっているような報道が連日されていますが、本校の選挙は正確な予想ができないのが常です。

立候補者諸君には、自分が飯野中の顔・核となるに相応しい態度・行動で臨み、全校生に認めてもらえるように、投票する生徒諸君は、これからの飯野中の代表として相応しい人をしっかりと見極められるようにお互いのことをしっかりと見つめ合ってほしいと思います。